答え 6月3日 今日は何の日クイズ

赤い字が答えです



測量の日にちなんで「伊能忠敬（いのうただたか）クイズ」

【第1問】伊能忠敬が、江戸で本格的に勉強を始めたのは何歳ごろでしょう？

① 20歳ごろ　② 35歳ごろ　**③ 50歳ごろ**

商人として家を立て直し、家業を息子にゆずったあと、50歳ごろに江戸へ出ました。先生の高橋至時（よしとき）は、19歳も年下だったそうです。

【第2問】伊能忠敬が江戸で学んだのは、次のうちどれでしょう？

① 医学　**② 天文学**　③ 漢文

星を観測して、暦（こよみ）を作るための学問です。地球の大きさを知りたいという思いが、日本中を測る旅につながりました。

【第3問】最初の測量の旅で向かったのは、今のどこでしょう？

① 北海道　② 九州　③ 四国

1800年、55歳のときに蝦夷地（えぞち）、今の北海道へ向かいました。それから17年かけて、日本の海岸線を歩いて測りました。

【第4問】最初の測量では、おもに何で距離を測ったでしょう？

① 馬の足あと　**② 自分の歩数**　③ 船の速さ

いつも同じ歩幅で歩けるように練習し、歩いた数で距離を計算しました。のちには縄や車輪のついた道具も使っています。

【第5問】伊能忠敬が商人として暮らした佐原（さわら）は、今の何県？

① 静岡県　② 岡山県　**③ 千葉県**

千葉県香取（かとり）市の佐原には、伊能忠敬の旧宅と記念館があります。小江戸と呼ばれる、川沿いの古い町並みも人気です。

【第6問】日本全図「大日本沿海輿地全図」ができあがったのは、いつ？

① 忠敬が亡くなったあと　② 忠敬が30歳のとき　③ 測量を始める前

伊能忠敬は完成を見ることなく、1818年に亡くなりました。弟子たちが仕上げ、1821年に幕府へ納めました。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます